

いわき市立桶売小学校「学校だより」

# おけうり

令和3年11月25日(木) 第26号 (発行者:大木 淳)

## <教育目標>

- ☆進んで学ぶ子ども(知)
- ☆健康でたくましい子ども(体)
- ☆みんなで助け合う子ども(徳)

### <校章の由来>



外形は学校を取り囲む山々を表し、その内側には健やかな成長と社会貢献を願い、杉の若芽が描かれています。



## 2校合同 見学学習を行いました



11月19日(金)も「抜けるような青空」「雲一つない青空」になりました。本校と川前小学校で見学学習を実施いたしました。

まず、川前駅から小川郷駅までの区間のJR路線を利用しました。2年生も5年生も、通常は自家用車での移動ですので、列車から見る夏井川渓谷の景色はとても新鮮でした。どちらも無人駅で券売機も置いてありませんので、切符を買ったり改札を通ったりすることはなかったのですが、あらかじめ購入していた先生から切符を手渡されると、お財布の中に入れるなどして大事に扱っていました。ワンマン運転なので、降りる際は切符を運転手さんに手渡しました。小川郷駅からは、市で用意してくださった車で移動しました。

最初は、日産いわき工場です。人数が10人ぐらいだったこともあります。きれいな会議室に案内されました。そこで、この工場についての概要を説明してくださいました。主に普通乗用車の排気量のエンジンを組み立てているようで、100種類ぐらい注文に応じているとのことでした。実際に工場へ足を運んでみると、向こう側の壁が見えないくらい広大なのですが、想像していたよりもずっと静かでした。見学した時がちょうど、大きな音の出る機械を使っていない時間だったようです。一通りに説明が終わると、工場の方が工夫された(圧縮空気を使って部品を6枚正確に出したり、部品にかぶっているビニール袋を一瞬で取ったりできる)機械や、インパクトレンチでネジを締める作業を体験させていただきました。



次は、お待ちかねの「昼食」です。次の見学場所に隣接している大型ショッピングセンター内のフードコートで、自分が食べたいものを注文して食べました。運営されている方のお取り計らいで、場所を確保していただきましたので、たいへん助かりました。



最後は、アクアマリンふくしまです。子ども達は、水槽の中にある様々な生き物の様子をじっと見ていました。深海にいる生物がいる水槽では見るところが丸くなっていて、その前を大型の魚が悠々と泳いでいくので、突然顔が出てきたり大きな目が見えたりしました。魚と目が合った、とお話していました。そのほか、屋外にはフクロウや柴犬、ほとんど動かないロリスなども展示してありました。

このように、普段では見たり聞いたり体験したりすることができないことを子ども達は目一杯に活動してきました。だいぶ疲れたのか、帰りの車の中はずっと静かでした。



PHOTOGALLERY (フォトギャラリー)

令和3年度 見学学習特集



とてもたのしかったですね。